

平成 30 年度 日臨技、都道府県技師会主催
多職種連携の為の臨床検査技師能力開発講習会
実施要領

1. 講習目的

国民の医療に対するニーズの多様化、複雑化により臨床検査技師の職域も検査室から外来や病棟へとより患者の身近での検査業務が求められていることをふまえ、私どもは各都道府県技師会から各 1 名の企画担当者を選任のうえ、「医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会(他職種業務を知る)企画担当者研修会」を開催した。

この講習を受けた企画担当者が当県内において「多職種連携の為の臨床検査技師能力開発講習会」を開催し、他職種の業務等を学び、多職種連携のチーム医療に積極的に参画することで、医療の質の向上に貢献することを目的とする。

2. 講習会の実施等

本講習会は、日臨及び都道府県技師会共同主催とする。

この事業は 3 年間にわたり開催する予定であり、1 年目にあたる本年度は、40 名の講習修了者を目標に実施することとし、前記研修目的の実現を目指す。

3. 主催

(公社) 茨城県臨床検査技師会

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

4. 後援

(一社) 茨城県医師会、(一社) 茨城県病院薬剤師会、(公社) 茨城県看護協会、
(公社) 茨城県栄養士会、(一社) 茨城県臨床工学士会

※企画担当者研修における後援(既承認)は以下の団体・学会となります。

公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本看護協会、

一般社団法人日本病院会、

チーム医療推進協議会、公益社団法人全日本病院協会、

公益社団法人全国自治体病院協議会、一般社団法人日本病院薬剤師会、

公益社団法人日本臨床工学技士会、公益社団法人日本栄養士会、

日本放射線科専門医会・医会、一般社団法人日本輸血・細胞治療学会

5. 受講対象

病院等の施設長より受講承諾をうけた臨床検査技師とする。定員は 30 名とする。

6. 開催日

平成 30 年 12 月 8 日（土）～12 月 9 日（日）

7. 受講料

5,000 円

病院などの施設長より受講承諾を得た際に、施設負担または受講者個人負担のいずれかを確認する。本講習受講の成果は、国民の医療に対するニーズの多様化、複雑化により臨床検査技師の職域も検査室から外来や病棟へとより患者の身近での検査業務が求められていることから、所属施設における業務効率の向上などに資するものと確信する。

8. 講習会企画運営

平成 29 年 12 月 8 日～10 日（3 日間）にわたり実施された日臨技主催「医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会（他職種業務を知る）企画担当者研修会」受講者が中心となり企画する。

受講料以外の収入として、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会からの所定の助成金を加える。

講義については、当県内の講師を重点的に依頼し、地域医療事情に根ざした講義となるよう配慮する。

9. 講義内容

別紙参照。

10. 修了の認定

修了者は、日臨技生涯研修制度の基礎 30 点を履修とした上で、都道府県会長名で修了証を交付する。

以上